

## ■事業の概要

### 1. 管理運営全般

#### (1) 理事会及び評議員会の開催状況

令和2年度において、理事会を7回、評議員会を6回開催しました。

#### (2) 監査の実施状況

##### ア. 監事監査

監事は、令和2年度に開催されたすべての理事会・評議員会に出席し、学園の重要な業務の決定及び執行状況等について監査を行いました。

また、平成24年度より中間監査を行っており、令和2年度も前期予算執行状況の監査及び理事の業務執行状況を確認しました。

なお、会計監査では同席した監査法人の業務執行社員に主要項目について説明を求め、計算書類および財産目録等について監査を行いました。

##### イ. 監査法人による会計監査

令和2年度において、監査法人彌榮会計社による監査が13日間に亘って実施されました。

##### ウ. 内部監査

令和元年度の科学研究費補助金等の公的研究費にかかる帳簿と証憑および令和元2年度科学研究費交付者の通常監査ならびに特別監査について内部監査委員による内部監査を行いました。

また、令和2年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）の帳簿と証憑についても同様に内部監査を行いました。

#### (3) 将来構想検討委員会

将来構想検討委員会は、学園教職員の中からメンバーを委嘱し、学園の将来を見据えた大学の戦略を策定する場として機能しており、令和2年度は専門学校新学科設置計画を中心に学園が当面する諸問題等を検証し、将来構想についての検討を行いました。

## 2. 大学・大学院

### 【関西医療大学の3つのポリシー】

#### ・「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」

関西医療大学は、建学の精神「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を具現化するため、卒業認定に必要な所定の単位を修得し、医療人に求められる次の能力を身につけ、地域で医療を必要とする人々への奉仕の精神を持ち続ける学生に対して、学部・学科ごとに、学士の学位を授与します。

1. 広い一般教養と、医療人としての高い倫理観に基づく実践力
2. 論理的な思考で問題解決できる能力
3. 医療人としての責任を自覚し、積極的に行動できる主体性
4. チーム医療の担い手として、多様な人々と協調・協働できる能力
5. 社会の要望に応えうる医療知識と技術

・「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」

関西医療大学は、大学全体および各学部・学科のディプロマ・ポリシーを満たし、建学の精神を実践する医療人を養成します。そのために、授業科目全体を、教養教育を行う総合教育科目と各学部・学科における専門教育科目に分け、学科ごとに、目指す医療資格の指定規則等の定めにより、学年進行に沿って各科目を体系的に配置した教育課程を編成します。この課程の実施により、学修効果を高め、医療人に求められる次の資質・能力を養成します。

1. 広い視野で社会の情報を収集し、問題を解決する能力
2. 社会に貢献できる、協調性とコミュニケーション能力
3. 高度な医学知識と技術を獲得できる思考力、判断力

・「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」

関西医療大学は、「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を建学の精神として、現代医学の進歩と社会の変化に対応できる能力を備えた医療人の養成を目的としています。本学では、医療専門職に必要な知識と技術、そして医療人としての幅広い教養と深い人間性を身につけ、将来にわたって、医療を通じて社会に貢献していきたいという強い意思を持つ次のような人たちを求めます。

1. 自ら学び、高い知識と技術で問題解決をしようとする人
2. 生命を尊び、病の痛みや苦しみを分かち合おうとする人
3. 保健・医療の場で貢献しようとする人

**【関西医療大学大学院の3つのポリシー】**

・「修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」

関西医療大学大学院は、建学の精神に基づき、所定の単位を修めて保健医療に関する学術理論と研究方法・技術を修得し、研究成果としての修士論文の審査に合格した次の資質・能力をもつ者に修士（保健医療学）の学位を授与します。

1. 保健医療分野の専門職としての高い倫理観に基づく実践力
2. 保健医療分野のリーダーとしての論理的思考力と問題発見・解決力
3. 保健医療分野のリーダーとしての責任感と主体的行動力
4. 保健医療分野の専門領域の発展に貢献できる研究力

・「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」

関西医療大学大学院は、教育課程の中に保健医療や医療倫理に関する幅広い知識を身につける共通教育科目、保健医療学分野における専門性を高めて高度専門職業人に必要な技術と知識を学ぶ専門教育科目、ならびに研究に関する基礎能力を修得する特別研究科目を体系的に配置して、保健医療分野のリーダーに求められる次の資質・能力を養成します。

1. 保健医療に携わる者に求められる高い倫理観と専門知識・技術
2. 広い視野に基づく情報収集力と問題発見・解決力
3. 保健医療分野の専門職としての高度な実践力
4. 論理的思考と科学的分析に基づく探究力と研究力

・「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」

関西医療大学大学院は、本学の建学の精神「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を理解し、保健医療に関する基礎または臨床研究を通じて保健医療を科学化し学問体系を確立すること、ならびに高い倫理観と専門性を身につけて我が国の保健医療の発展に貢献することを目指す次の

ような熱意ある人たちを広く求めています。

1. 専門領域においてキャリアアップを図り、リーダーシップを発揮したい人
2. より高度で専門的な知識と技術を修得して保健医療に従事する意欲をもつ人
3. 保健医療分野における専門領域の第一線で活躍する研究者や教育者を目指したい人

## (1) 学生募集、広報関係

学生募集においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での広報活動が大幅な制約を受けました。6月から10月までに開催を予定していたオープンキャンパスの全日程を中止とし、代替措置として6月以降、受験生応援サイト上で「WEB OPEN CAMPUS」ページの整備、「オンライン受験相談会」「個別学校見学」の受付を開始するとともに、その後も継続して入試対策講座や、応援メッセージ動画の配信等、コンテンツの拡充を行いました。また、開催できなかったオープンキャンパスに替わるものとして、人数制限、事前予約等の制限と感染対策を徹底した上で「REAL CAMPUS 2020（学校見学会）」を8月から9月にかけて計3回実施しました。

また、2021年度入試については、新型コロナウイルス感染症の感染予防に最大限の配慮を行いながら実施しましたが、入試制度の変更やコロナ禍の影響を色濃く受け、全体としては3.3%の志願者減（第1志望のみ）となりました。特に年が明けての一般選抜・共通テスト利用選抜では12.2%減と減少幅が拡大しました。

## (2) 主な教育・研究の概要

### ア. 学部教育

令和2年度の授業形態は、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けて従来の対面授業の一部を同時双方向、又はオンデマンド型の遠隔授業に変更して実施することとなったため、Wi-Fi設備やサーバの設置など遠隔授業に必要な通信環境を整備し、柔軟に変更した学事日程のもとで創意工夫した教育方法を学内で共有することにより、全ての学科において既定の教育課程を履行しました。

また、各学科においては、教育の特色に応じた教具・教材の整備や、ネイティブ講師による語学教育の導入（理学療法学科）を図るなど教育の質向上に新たに努めるとともに、国家試験の対策の強化を図りました。

### イ. 大学院教育

学部教育と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により遠隔授業を中心とする授業形態となりましたが、オンラインによる少人数授業の利点を活かした教育を展開しました。また、理学療法士・作業療法士の資格を持ち、大学教員を目指すために必要となる科目を備えた新カリキュラムの運用を令和2年度より開始しました。

### ウ. 3つのポリシーの見直し

本学は、大学全体・各学部・各学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を定めてホームページ等により公表していますが、学外の視点による点検・評価も取り入れて、必要に応じて見直しを行いました。

### エ. 学修成果発表会の開催

例年9月に、学生主体の学修成果の発表により個々の勉学に対する追求心の向上と学科間の交

流を図ることを目的として、「学修成果発表会」を開催していましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

#### オ. 学生サービスの充実

- ① 昨年度に引き続き、成績が優秀な学生を対象とした特待生を選出しました。
- ② 学生増に対応して、通学バスのダイヤを見直すなどの対策を講じて、通学の利便性を確保しました。

#### カ. 学修成果の可視化

学生の履修科目の成績に基づいて学修成果を可視化するしくみを整備して、学科のカリキュラム全体の教育、学生が身につける行動特性や能力（コンピテンシー）の到達度などを視覚的に示し、学科の教育や学生の学修状況の改善と向上に役立てました。

#### キ. 進路支援

学生のキャリア支援については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、対面とオンラインの両面で合同就職説明、履歴書・面接対策講座、卒業生と語る会、特別講義等を行いました。

模擬面接はオンラインで実施、各種相談にはオンライン窓口を設置し学生対応にあたりました。

履歴書添削や過去問閲覧などもオンライン、メールで対応し、求人票などはポータル配信で閲覧できるよう、各学科と協力・連携して就職支援を行いました。

求人票の開拓や卒業生のフォローアップは難しい状況にあり、ほとんど実施できていませんが、主に学校近辺の施術所を訪問しました。

近年、全体的に就職活動が早期化している現状を踏まえ、全ての学科で3年次に「スタートアップ講座」を実施し対応しました。

#### ク. 研究

研究ユニットの構成については、各研究分野の多様性、所属教員数の変動ならびに新学科設置を加味して再構築され、13ユニットで活動しています。

また、産学協同研究については、企業との適切な連携の在り方（知的財産権、資金運用、利益相反など）が産学連携委員会で審議され、契約の履行についても指導・管理を行っています。

平成27年度より、「研究倫理教育」および「コンプライアンス教育」に係る学内研修会を開催しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、今年度は外部講師によるオンライン研修を行いました。

外部資金としては、文部科学省および日本学術振興会の科学研究費補助金を獲得しました。

#### ケ. 施設・設備の整備・補修等

以下のとおり、施設・設備の整備・補修等を行いました。

- ア) 老朽化したプロジェクターの更新
- イ) 天井付けロールスクリーンの更新
- ウ) 体育館間仕切りネットの更新
- エ) 図書室資料展示ケースの導入
- オ) 2号館の壁面タイル等の打診調査および修繕工事
- カ) 電話交換機（PBX）等の更新工事
- キ) 診療・研究棟1階～4階の誘導灯・非常灯の更新工事
- ク) 管理棟前駐輪場周辺、3号館横の側道周辺の外灯更新工事

- ケ) 管理棟2階学長応接室の内装更新工事
- コ) 管理棟、1号館等の屋内消火栓および連結送水管ホースの点検・更新
- サ) 1号館地下消火ポンプ室の除湿器・電源コンセント設置工事
- シ) 診療・研究棟ロスナイ更新工事
- ス) 1号館1階化学系実習室 床修繕工事
- セ) 1号館雨樋修繕工事
- ソ) 南海バスターミナル裏の大学敷地 整地等工事（地すべり対策）
- タ) 1号館2階212講義室 天井修繕工事
- チ) 消火栓・連結送水管ホースの更新

## コ. 自己点検・評価

「関西医療大学中期計画進捗状況・アクションプランの達成状況報告書」を作成し、各部署における1年間の活動について点検・評価を行いました。

また、令和5年度に日本高等教育評価機構の認証評価(第三サイクル)を受審予定であるため、新評価システムに対応した自己点検・評価体制を構築しました。さらに、令和元年度のエビデンスとデータの取りまとめを行い、令和2年度自己点検評価書を作成して公表しました。

例年実施している教員自身による教員活動の調査(自己点検・評価)は、平成30年度実施分より新様式の調査票(「教員活動に係る自己評価調査票」)を用いて実施しました。

## サ. FD・SD活動等

### ア) FD活動

本学の教育目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況の自己点検・評価を行い、また、改善点について、検討を行いました。

- ①学内外講師の講演会の開催
- ②授業評価アンケートの実施
- ③学外研修会への参加
- ④初任者研修会の開催

### イ) SD活動

文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団、私学経営研究会および日本私立大学協会等が実施する外部研修会に事務職員が参加するなど、職員自身が業務の専門性や効率性の向上を目指せるように支援し、職員全体の資質の増進に努めました。

また、今年度のSD研修会は、①「新型コロナウイルス感染防止に関して」、②「情報倫理研修」について開催しました。

## シ. 地域貢献・社会貢献・地域連携

### ア) 公開講座の開催

令和2年10月17日(土)に予定していた「令和2年度公開講座」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

### イ) 熊取町との連携

地元熊取町に対し、各種市民講座への講師派遣、行政への協力のほか、定期的に協議を継続して行いました。また、町からの求めに応じて、以下の通り町内の健康福祉等の事業に協力しました。

- ①「熊取町青少年問題協議会」委員に就任
- ②「熊取町障害支援区分判定審査会」委員に就任
- ③「熊取町保健対策推進協議会」委員に就任
- ④「熊取町国民保護協議会」委員に就任
- ⑤「健康お悩み相談コーナー」開設
- ⑥「熊取町防災会議」委員に就任
- ⑦「熊取町交通事故をなくす運動」推進本部 理事に就任
- ⑧「熊取町献血推進協議会」委員に就任
- ⑨「熊取ゆうゆう大学 大学連携講座」「町民文化祭」「環境美化強調月間・路上喫煙禁止街頭啓発キャンペーン」等の町イベントへの協力

#### ウ) 国際協力機構からの研修生の受け入れ

独立行政法人国際協力機構（JICA）日系研修員受入事業の「鍼灸学」の短期コース研修生希望者を受け入れる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で受け入れを中止しました。

#### イ) 高大連携事業の推進

本学の高大連携事業として、熊取町内に設置されている大阪体育大学浪商高等学校と令和 3 年 3 月 24 日に高大連携の協定を締結しました。この協定に基づき、令和 2 年度は両校の相互交流で種々の事業活動の実施を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、それらの遂行を中止しました。

#### ス. IR (Institutional Research) 活動への取組み

学長の指示のもと、IR 推進室が中心となり、GPA (Grade Point Average 各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の総合的な成績評価値) 等を利用したデータを作成し、本学における教育・研究及び業務運営の向上に資する学内の情報を分析して、退学者、休学者を減らすための対策を始め、学内における協議や検討に有益となる情報発信を行う取組みを強化しました。

#### セ. アクションプランの策定

建学の精神を具現化し、優れた医療人を社会に送り出すため、教育の方法と仕組み及び教育環境について、不断の点検と改善の取組みを行っています。これを計画的に実行していくために、令和 2 年度から中期計画に基づく 5 か年のアクションプランとして新たに 67 項目を策定し、各プランを担当する学科、部署、組織等において計画を推進しました。

#### ソ. 高等教育の修学支援新制度への対応

令和 2 年 4 月から本学は、高等教育修学支援新制度の対象機関として認定され、引き続き対象機関となるための確認申請を令和 2 年 6 月に行った結果、対象校として更新されたことが 9 月 11 日に公表されました。

#### タ. 教員の教育面における評価

教員の教育面について評価を行う仕組みを新たに整備して、学生による授業満足度調査結果等に基づき、教員評価委員会が評価を行う取組みを平成 31 年 4 月より開始しましたが、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。

### 3. 大学附属保健医療施設

本学附属保健医療施設は、大学の臨床教育機関として、また、地域の保健医療機関として、重要な役割を果たしています。

令和2年度も引き続き、保健医療施設全体で基本理念・行動指針に基づいた患者ニーズに沿った診療・治療体制の確立、介護保険事業の通所リハビリテーションと保健医療施設として、日常的な医療機関の連携の確立をめざしました。

#### (1) 附属診療所の運営

平成26年に開設した通所リハビリテーションの実施により、維持期リハビリテーション体制の構築、学生の臨床実習において、当附属診療所で医療・介護ともに実施できる環境下であり、介護保険事業参入により、利用者数の増加に努めています。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、当診療所においても臨床実習等も止むなく中止しました。

今冬にあたり、季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの流行に備え、診療棟横にレンタルでテントを設営し、発熱患者様を診察することで感染拡大防止に努め、診察にあたりました。

また、今年度も地域基幹病院と連携強化を図り、当附属診療所として持っている特有の機能を十分発揮し、紹介や逆紹介、近隣開業医からのMRI・CT撮影の外部オーダー増件等、その役割を有効利用し、地域医療の貢献、患者数増に努めました。

#### (2) 附属鍼灸治療所の運営

附属鍼灸治療所は、緊急事態宣言を受け、4月8日から休診。附属鍼灸治療所独自の新型コロナウイルス感染防止ガイドラインを策定し、6月より施術を再開しました。患者様・スタッフが、安全に安心して施術を受けてもらえるよう努めました、患者数も徐々に戻りつつあります。

また、前年度に引き続き、若年層患者様の増患対策を目的として、WEB・SNSを中心とした広報活動に取り組みました。

#### (3) 附属接骨院の運営

附属接骨院では、新型コロナウイルス感染防止の観点から、WEB予約システムを導入し、完全予約制として患者を密にならないように分散させて、患者数の調整を行いました。また、ベッド数を減らして患者様や施術者間の距離の確保や、患者様と施術者の施術前の検温や体調チェックや消毒と換気を徹底して実施し、そして月1回開催予定の「ここトレ運動教室」はすべて中止としましたが、院内での施術、アロマセラピー、運動指導を充実・強化し、附属診療所・附属鍼灸治療所と連携することにより、可能な範囲で患者数の増加に努めました。

#### (4) 危機管理体制の充実・強化

毎月、感染対策委員会・医療安全管理委員会を開催しており、感染症・個人情報保護等における適切な対応を図るため、危機管理体制の充実・強化を図りました。

#### (5) 広報活動の推進

令和2年度も引き続き、広報活動の費用対効果を考慮し、附属保健医療施設として効果のある広告へとシフトし、より認知度を図りました。

ア. 地域情報誌等へのPR

イ. 近隣ボランティア活動の会と交流、地域住民へのPR

- ウ. ホームページ委員会と連携し、より充実した内容に更新
- エ. 運動教室・公開講座参加者等へのPR
- オ. 地域医療機関及び居宅介護事業所との連携
- カ. 介護支援事業者等へのリーフレットPR
- キ. Facebook、LINE、Instagram等でWebによるPR

#### 4. 専門学校

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の対策に努めるとともに、全教職員が建学の精神のもと、質の高い教育の提供と入学定員の確保のため、以下の事項に取り組みました。

##### (1) 新型コロナウイルス感染症に係る対応

###### ア. 遠隔授業整備計画事業補助金の申請

大阪府知事に申請した遠隔授業の実施経費に係る補助金について、交付の内示を受けました。

###### イ. 学生に対する就学支援

###### ア) 遠隔授業整備に係る貸付制度の創設

学生支援として、パソコン等の購入及び通信環境の整備を目的とした貸付制度を創設し、8名の学生に貸し付けを行いました。

###### イ) 学園貸与奨学金の時限的運用

学園貸与奨学金を時限的に募集することとし、2名の学生に貸与を行いました。

###### ロ) 学生支援緊急給付金の申請

文部科学省に申請し、34名の学生が給付を受けました。

###### ハ) 新型コロナウイルス感染症対策助成事業の申請

日本学生支援機構に申請し、交付金(60万円)を6名の学生に支給しました。

###### ウ. 緊急事態宣言発出に伴う臨時休校等

緊急事態宣言の発出に伴う臨時休校期間(令和2年4月～5月)について、課題学修及びZoomによるリモート授業を行い、宣言解除後についても一部の科目についてはリモート授業を継続して行いました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、入学式及び教育講演会・保護者会を中止しました。

###### エ. 新型コロナウイルス感染症対応に係る教職員研修の実施

新型コロナウイルス感染症の対応について、畑村育次先生(関西医療大学附属診療所長)の講演DVDを用いた研修会を開催しました。(令和2年8月1日ほか)

##### (2) 将来構想の検討

将来構想計画として、新学科の設置について法人将来構想検討委員会において検討し、歯科衛生士の養成課程を令和4年4月に設置することについて、理事会及び評議員会で承認を受けました。

また、昼間部に設置している東洋医療学科、東洋医療鍼灸学科学科及び柔道整復学科教育の再編について、専門学校将来構想検討委員会において検討を行いました。

##### (3) 自己点検・評価及びFD・SD活動等

###### ア. 自己点検・評価の実施

自己点検・評価委員会において、令和元年度の点検評価を行うため、小委員会を組織して評価をまとめ、ホームページに公表しました。

#### イ. 第三者評価の受審

理学療法学科について、リハビリテーション教育評価機構による更新受審の結果、適E（最高評価）を受け、厚生労働省医政局長通知に基づき、ホームページで公表しました。

#### ウ. FD・SD研修会等に関わるもの

下記の研修会については、新型コロナウイルス感染症防止の観点から開催を見送り、外部団体の研修会についても中止になりました。また、専任教員の臨床研修は緊急事態宣言の発出期間については、学外研修を中止しました。

上記のほか、リクルートマーケティングパートナーズ主催の入試広報研修をオンライン形式で受講しました。（令和2年8月26日（水曜）及び31日（月曜）

ア) 各学科FD研修

イ) 事務職SD研修

ウ) ハラスメント防止研修

エ) ハラスメント防止研修

オ) 東洋療法学校協会教員研修会

カ) 柔道整復学校協会教員研修会

キ) 全国リハビリテーション学校協会教員研修会

#### (4) 学生に対する経済的支援

##### ア. 特待生制度

##### イ. 奨学金制度

ア) 学園貸与奨学金

イ) 柔道給付奨学金

#### (5) 学生募集活動

令和3年度入学生の募集活動については、コロナ禍のため高校訪問は中止しましたが、オンラインでの入学相談に対応したほか、業者主催の相談会等に参画しました。

#### (6) 行政庁への申請・届出等について学生募集活動

##### ア. 高等教育の修学支援制度に係る機関要件の確認申請について

高等教育の就学支援制度に係る機関要件の確認申請を文部科学省に行い、承認を受けました。

##### イ. 学則変更（柔道整復学科教育課程の変更）

柔道整復学科の教育課程の変更について、大阪府知事に申請し、承認を受けました。

##### ウ. 校舎用途の変更

基礎医学実習室の移動及び視聴覚教室の転換に係る校舎用途の変更について、大阪府知事に申請し、承認を受けました。

##### エ. 理学療法臨床実習施設の変更

理学療法士作業療法士学校養成施設の改定に伴う臨床実習施設の変更について、大阪府知事に

申請し、承認を受けました。

**オ. 教育訓練給付金指定講座の継続申請**

教育訓練給付金に係る指定講座として、東洋医療学科及び東洋医療鍼灸学科（昼間・夜間）が承認を受けました。

## 5. 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

関西医療大学 中期計画進捗状況（令和2年度）

領域	中期計画 進捗状況					評価	アクションプラン 達成状況					評価
	0	～59	60	80	90		100%	0	～59	60	80	
1. 大学の使命						B						B
2. 教育						B						B
3. 学生支援						B						B
4. 研究						B						B
5. 管理運営						C						B
6. 社会貢献						C						C
7. 内部質保証						C						C

領域	大目標	0	～59	60	80	90	100%	評価	0	～59	60	80	90	100%	評価
1	1. 大学の使命と目的の達成							B							B
	2. 3つのポリシーの実質化							A							A
2	1. 教育改革の推進							A							A
	2. 教育環境の整備							B							B
	3. 教学情報の発信							A							A
3	1. 学修支援の取組みの強化							B							B
	2. 学生生活支援の取組みの強化							B							B
	3. キャリア支援の取組みの強化							A							A
4	1. 研究活動の支援の強化							B							B
	2. 大学院の充実							C							C
5	1. 財政基盤の安定化							C							B
	2. 職員の資質と能力の向上							C							B
	3. 危機管理の強化							C							C
6	1. 地域連携・地域貢献の推進							C							D
	2. 附属保健医療施設の改革							B							B
7	1. 内部質保証の強化							C							C

領域	大目標	小目標	0	～59	60	80	90	100%	評価	0	～59	60	80	90	100%	評価
1	1	1. 建学の精神の周知を図る							C							C
		2. ガバナンス体制の強化を図る							A							A
2	2	1. 教学マネジメント体制を確立する							A							A
		1. 学生の学修成果を把握して可視化する							B							B
2	2	2. 教育の質を向上させる							A							A
		1. 施設・設備を適切に管理する							B							B
		2. キャンパスの教育環境を充実させる							B							B
3	3	1. 教学IR機能を確立する							A							A
		1. 学生の自律的な学修力を高める							B							B
		2. 各種資格等を取得する支援を推進する							B							C
3	3	1. 退学者・休学者等を減少させる							B							B
		3. 学生のキャリア支援を推進する							A							A
		1. 適正な研究活動を支援する							A							A
4	2	2. 特殊医療分野に関する研究体制を構築する							D							D
		1. 学部教育への還元を図る							C							C
5	1	2. リカレント教育を充実させる							C							B
		1. 入学志願者を確保する							B							B
		2. 安定した財務基盤を維持する							B							B
	2	3. 外部資金獲得の取組みを強化する							D							D
		1. 職員の業務能力の向上を図る							B							B
		2. 事務の業務の適正化を図る							C							C
3	1. 危機管理体制を強化する							C							C	
	2. 個人情報適切に管理する							A							A	
6	1	1. 地域社会との連携を推進する							C							D
		2. 地域住民との交流を推進する							C							C
7	1	1. 附属保健医療施設の運営を改革する							B							B
		1. 内部質保証システムを確立する							A							A
7	1	2. 第三者機構による認証評価を受審する							C							C

<中期計画・評価基準>

- S評価: 特筆すべき進捗状況にある。(100%以上)
- A評価: 順調な進捗状況にある。(90～100%)
- B評価: 概ね順調な進捗状況にある。(80～90%)
- C評価: 進捗がやや遅れており改善の必要がある。(60～80%)
- D評価: 進捗が著しく遅れており大幅な改善が必要である。(60%未満)

<アクションプラン・評価基準>

- S評価: 計画を大幅に上回って達成している。(100%以上)
- A評価: 計画を達成している。(90～100%)
- B評価: 計画を概ね達成している。(80～90%)
- C評価: 計画をやや下回っており改善の必要がある。(60～80%)
- D評価: 計画を大幅に下回っており大幅な改善の必要がある。(60%未満)

関西医療大学 アクションプラン達成状況 (令和2年度)

領域 (7)	大目標 (16)	小目標 (28)	アクションプラン (67)		アクションプラン達成状況									
					0	~59	60	80	90	100%	評価			
1	1	1	1111	建学の精神を学内外に浸透させる							C			
		2	1121	大学の意思決定のしきみを強化する							A			
	2	1	1211	教学マネジメントのしきみを構築する							A			
			1212	3つのポリシーに基づく教育課程編成の点検をする							B			
2	1	1	2111	学修成果の把握と可視化のしきみを確立する							B			
		2	2121	教員の教育成果の把握と授業改善を推進する							A			
			2122	ICTを活用した教育方法の導入を検討する							A			
	2	1	2211	施設・設備の修繕・改装等を行う							S			
			2212	節電・省エネ対策を推進する							C			
		2	2221	図書館の機能拡充を推進する							B			
			2222	図書館の蔵書管理計画を策定する							A			
			2223	ICT教育を行う環境を構築する							B			
	3	1	2311	教学IRデータの収集・分析力を高める							A			
	3	1	1	3111.1	学生の学修行動の実態を把握する(保健看護学科)							A		
3111.2				学生の学修行動の実態を把握する(理学療法学科)							C			
3111.3				学生の学修行動の実態を把握する(作業療法学科)							A			
3111.4				学生の学修行動の実態を把握する(臨床検査学科)							A			
3111.5				学生の学修行動の実態を把握する(はり灸・スポーツトレーナー学科)							A			
3111.6				学生の学修行動の実態を把握する(ヘルスプロモーション整備学科)							C			
2			3112	入学前教育を充実させる								A		
			3113	学部、学科間の教育交流を推進する								C		
			3114	リメディアル教育を充実させる								B		
			3115	教育研究・学修支援センターを設置する								D		
			3121.1	医療資格の国家試験合格者を向上させる(保健看護学科)								A		
			3121.2	医療資格の国家試験合格者を向上させる(理学療法学科)								C		
			3121.3	医療資格の国家試験合格者を向上させる(作業療法学科)								B		
			3121.4	医療資格の国家試験合格者を向上させる(臨床検査学科)								S		
			3121.5	医療資格の国家試験合格者を向上させる(はり灸・スポーツトレーナー学科)								A		
3121.6		医療資格の国家試験合格者を向上させる(ヘルスプロモーション整備学科)								C				
3		3122.1	付加資格の試験合格者を向上させる(臨床検査学科)								B			
		3122.2	付加資格の試験合格者を向上させる(はり灸・スポーツトレーナー学科)								A			
		3122.3	付加資格の試験合格者を向上させる(ヘルスプロモーション整備学科)								C			
2		1	3211	退学・休学の予防対策を推進する							B			
3	1	3311	キャリア支援イベントを充実させる							A				
		3312	学生、大学、求人施設間のネットワークを強化する							A				
		3313	医療職以外への就職希望者に対応する								S			
4	1	1	4111	研究倫理教育を推進する							A			
			4112	研究不正防止コンプライアンスを強化する							A			
			4113	競争的資金の獲得を推進する								B		
	2	1	4121	特殊医療分野の研究センターを設置する							D			
			4211	学部教育との接続を強化する								C		
			4221	リカレント教育の学費軽減を検討する								C		
	4222	リカレント教育の授業形態を検討する								A				
5	1	1	5111	募集力強化の取組みを推進する							C			
			5112	大学ホームページの訴求力を高める								S		
			5113	入試制度を改革する								A		
		2	5121.1	収容定員を適正に維持する(保健看護学科)								S		
			5121.2	収容定員を適正に維持する(理学療法学科)								S		
			5121.3	収容定員を適正に維持する(作業療法学科)								C		
			5121.4	収容定員を適正に維持する(臨床検査学科)								S		
			5121.5	収容定員を適正に維持する(はり灸・スポーツトレーナー学科)								C		
			5121.6	収容定員を適正に維持する(ヘルスプロモーション整備学科)								C		
		3	1	5131	審附金の獲得を推進する								D	
	2			1	5211	外部研修会等への参加を推進する							A	
					5212	担当業務に関連する資格取得を推進する								C
					5213	SD活動を推進する								B
	5221			労働時間の適正化を推進する								C		
	3	1	5311	自然災害への備えを推進する								C		
5312			防災・避難訓練を推進する								C			
	2	5321	個人情報保護体制を強化する							A				
6	1	1	6111	高大連携事業を推進する							D			
			6112	地域の大学間連携を推進する								D		
		2	6121	地域における交流行事を継続する								C		
7	1	1	6211	附属保健医療施設の運営を点検し改革を推進する							B			
			7111	自律的なPDCAサイクルを機能させる								A		
		2	7121	日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審する								C		
			7122	リハビリテーション教育評価機構による評価を受審する								D		

<評価基準> S評価:計画を大幅に上回って達成している。(100%以上)

A評価:計画を達成している。(90~100%)

B評価:計画を概ね達成している。(80~90%)

C評価:計画をやや下回っており改善の必要がある。(60~80%)

D評価:計画を大幅に下回っており大幅な改善の必要がある。(60%未満)

関西医療学園専門学校 中期計画進捗状況（令和2年度）

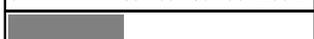
〔領域1〕 専門学校(養成施設)の使命	
目標1	建学の精神を教職員・生徒及び保護者ほかのステークホルダーに周知する
目標2	全教職員が共通した認識をもって行動する
目標3	実践的職業教育を遂行するため、伝統の継承と創造する意欲を以て取り組む

〔領域1〕 進捗状況	
0	~59 60 80 90 100%
	
評価	
C	

〔領域2〕 養成教育	
目標1	教育体制の充実
目標2	教育環境の整備
目標3	国家試験合格率の向上と維持

〔領域2〕 進捗状況	
0	~59 60 80 90 100%
	
評価	
C	

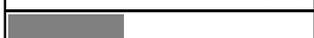
〔領域3〕 生徒支援	
目標1	学修支援については、入学前教育を充実させ、生徒が安心して学修することができる環境を確保する
目標2	退学・休学の予防に重点を置き、保護者との緊密な連絡に努める
目標3	就職支援の向上については、求人者と求職者のニーズのマッチングに努め、細かな就職支援を行うことができるようにする
目標4	生徒の資格取得(国家試験合格率)の向上と維持を重点事項として取り組む

〔領域3〕 進捗状況	
0	~59 60 80 90 100%
	
評価	
D	

〔領域4〕 内部質保証	
目標1	内部質保証に係るシステムを確立する
目標2	第三者評価機関による評価を受審し、その結果を公表する

〔領域4〕 進捗状況	
0	~59 60 80 90 100%
	
評価	
B	

〔領域5〕 管理運営	
目標1	入学志願者を確保する
目標2	安定した財政基盤の強化
目標3	教職員のスキルアップ
目標4	教育環境の整備

〔領域5〕 進捗状況	
0	~59 60 80 90 100%
	
評価	
D	

〔領域6〕 将来構想	
目標1	既設学科の再編
目標2	新学科の設置

〔領域6〕 進捗状況	
0	~59 60 80 90 100%
	
評価	
C	

〔計画全体〕 進捗状況	
0	~59 60 80 90 100%
	
評価	
C	

<評価基準>

- S評価: 計画を大幅に上回って達成している。(100%以上)
- A評価: 計画を達成している。(90~100%)
- B評価: 計画を概ね達成している。(80~90%)
- C評価: 計画をやや下回っており改善の必要がある。(60~80%)
- D評価: 計画を大幅に下回っており大幅な改善の必要がある。(60%未満)

6. 令和3年度 学生の応募状況

学部、学科（入学定員）		志願者数	入学者数	備考
関西医療大学	保健医療学部（250名）	1,470名	235名	
	保健看護学部（90名）	1,081名	105名	
	小計（340名）	2,551名	340名	
	大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻（9名）	14名	13名	
	合計（349名）	2,565名	353名	
関西医療学園 専門学校	東洋医療学科（30名）	95名	30名	
	東洋医療鍼灸学科（30名）	46名	23名	
	柔道整復学科（60名）	32名	29名	
	理学療法学科（40名）	106名	40名	
	合計（220名）	279名	122名	
総計（569名）		2,844名	475名	

※大学、専門学校の志願者数は重複志望を含みます。

※令和2年度より関西医療学園専門学校 東洋医療鍼灸学科夜間部、柔道整復学科夜間部の学生募集を停止しました。

7. 令和2年度 資格試験の合格者状況

学 校 名		資 格	卒業生数	受験者数	合格者数	合格 率
関西医療大学	保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科	はり師	43名	39名	39名	100.0%
		きゅう師			39名	100.0%
	保健医療学部 理学療法学科	理学療法士	57名	57名	51名	89.5%
	保健医療学部 ヘルスポモーション整復学科	柔道整復師	33名	29名	25名	86.2%
	保健医療学部 臨床検査学科	臨床検査技師	47名	47名	47名	100.07%
	保健看護学部 保健看護学科	看護師	92名	92名	91名	98.9%
		保健師			15名	100.0%
助産師		5名			100.0%	
関西医療学園 専門学校	東洋医療学科	あん摩マッサージ指圧師	30名	29名	27名	93.1%
		はり師			24名	82.8%
		きゅう師			24名	82.8%
	東洋医療鍼灸学科	はり師	26名	26名	25名	96.1%
		きゅう師			25名	89.3%
	柔道整復学科	柔道整復師	33名	28名	16名	64.0%
理学療法学科	理学療法士	33名	33名	29名	87.9%	